

HA4300

ジャンボ果樹園ゲーム

ハバ社

2人以上で協力して遊ぶゲームです。3歳～

セット内容:りんご・洋ナシ・さくらんぼ・プラム 各10個／バスケット 4個／さいころ 1個
カラスのパズル 1セット(9ピース)／ゲーム盤 1

4本の果物の樹をフルーツでいっぱいにします。りんご・洋ナシ・さくらんぼ・プラムの実が熟したら、急いで摘み取りましょう。ずる賢いカラスがちょっと一口横取りしようと待ち構えていますよ。

まず始めに、

ゲーム盤に描かれた樹の上にそれぞれの実を置きます。プレイヤーは各自バスケットを持ちます。もしも4人以上で遊ぶときは、何人かで一緒にバスケットを持ちましょう。ゲーム盤の横にさいころを置き、カラスのジグソーパズルも積んでおきます。

さあゲームを始めましょう。

1番幼い子どもが最初にさいころを振ります。どんな目が出ましたか？

・赤・黄・緑・青ならば:

そのプレイヤーは同じ色のフルーツを摘んで自分のバスケットにいれます。もしもその色のフルーツがひとつも残っていなければ、何も摘み取る事は出来ません。次の人にさいころを渡します。

・バスケットの絵ならば:

どれでも好きなフルーツを2個摘んで自分のバスケットに入れる事が出来ます。

・カラスならば:

カラスのジグソーパズルを1枚とって、ゲーム盤の中央にあるカラスの絵と同じ部分の上に置きます。

ゲームの終了

*カラスのジグソーパズルが完成する前にすべてのフルーツを摘み取り終えていたら、プレイヤー全員の勝ちです。みんなで協力して大食いのカラスよりもすばやく摘み取る事が出来ました！

*もしも全てのフルーツを積み終える前に、カラスのジグソーパズルが完成してしまったら、みんなで摘んだフルーツは全部カラスに食べられてしまいます。残念！



果樹園ゲームには左のマークのついた説明書(ドイツ語)が同封されています。ここにはドイツ語を母国語とする子どもたちの、言葉の発達を促す遊び方のアイデアが掲載されています。

そのため日本語訳はつけておりません。ご了承ください。

アイデア: Anneliese Farkaschovsky

デザイン: Waler Matheis



® 輸入販売元:

Good Toy & Good Childhood

株式会社 ブラザー・ジョルダン社